令和元年第１２回大仙市教育委員会定例会議事録

令和元年第１２回大仙市教育委員会定例会を令和元年１２月２５日（水）午後４時から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　鈴 木 松右衛門（直樹）
　　工　藤　浩　一
　　中　島　　康
　　髙　見　文　子

説明員

教育指導部長	佐　藤　英　樹
生涯学習部長	安　達　成　年
教育総務課長	田　口　広　龍
教育指導課長	島　田　　智
学校給食総合センター所長	俵　谷　憲　朗
生涯学習課長	大　沼　利　樹
文化財保護課長	熊　谷　直　栄
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
総合図書館長	岡　田　久美子
総合市民会館長	品　川　雄　喜
花火伝統文化継承資料館長	竹　村　宏　之
教育研究所長	櫻　田　　武
花館公民館長	寺　村　彰　浩
神岡中央公民館長	藤　井　良　子
西仙北中央公民館長	小山田　幸　哉
中仙公民館長	髙　橋　千　秋
協和公民館副主幹	武　藤　真貴子
南外公民館長	佐　藤　政　利
仙北公民館長	小　松　暢　子
太田公民館長	黒　澤　伸　朗

書記

教育総務課主幹　　小　松　和　範

吉川教育長

委員の皆様、年末の大変お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席であります。書記に小松主幹を指名いたします。

ただいまから、第１２回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

さて、今年もあと僅かとなりました。おかげさまで、これまでの様々な教育施策は評価されたものが多かったように思います。市の財政は、地方交付税の縮減もあり、相変わらず厳しい状況ではありますが、核となる事業やその運営の質だけは後退しないよう努力してまいりたいと思いますので、教育委員の皆様の御理解と御支援を今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、資料の１ページを御覧ください。

まず、学校教育における主な教育活動等についてでありますが、１２月１４日に、さいたまスーパーアリーナで開催されたマーチングバンド全国大会では、大曲小学校と花館小学校が銀賞、そして大曲中学校が１３年連続となる金賞を受賞しております。私と佐藤部長が参観させていただきましたが、３チームともベストを尽くした素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。また、全県中学校新人大会の団体種目で、大曲中学校が男子と女子のバドミントン、女子バレーボール、女子卓球、そして女子バスケットボールで見事全県優勝という快挙を成し遂げております。そのほか、ビブリオバトルや理科研究発表大会でも大曲中の生徒が好成績を挙げております。

研修等については、先月２３日の県教委主催の「学力向上フォーラム」では、県外から約５００名の教育関係者の参加を得て開催されました。参加者からは「子供たちの学びに向かう姿勢が素晴らしい。それは、学校が教育目標の下、一丸となって子供たちを導いているからだと感じた。」といった声など、別添のアンケートのまとめの冊子にもありますように、多くの方々から高い評価をいただいております。このことを糧に、更なる教育活動の充実に努めてまいりたいと思います。

なお、１２月４日と５日に県学習状況調査が実施されまして、現在集計中でありますが、４月に実施された全国学力・学習状況調査の結果を受けて、各校ともその課題の対策を行っており、今回の結果・分析を経て、来年度に向けた学力向上への更なる対策が構築されていくものと思います。

次に社会教育関係ですが、１２月８日に、大曲市民会館で多くの観客を得て、大仙市音楽祭の一連行事として、７回目となる「大いなる秋田」大演奏会が開かれました。大仙仙北地域のコーラスサークルなど約４７０名による「大いなる秋田」の演奏、そして、会場全体での「県民歌」の斉唱が行なわれました。

なお、先日、大曲図書館の事業でもある「まるびちゃん読書通帳」で、５００冊超えした大曲小学校の１年生と３年生の児童３名に、教育長賞をお贈りしております。この通帳をツールにしながら、子供たちの読書活動への広がりを期待したいと思います。

次に社会体育関係では、市内の三つのスキー場がスキー場開きを行いましたが、御覧のとおり現在は全然雪が積もっていない状況です。今後の降雪を期待したいと思います。

次に、安全・安心についてでありますが、特に事故等はございませんでした。
最後に１２月の市議会についてでありますが、教育委員会関係への一般質問の答弁は、別紙資料ナンバー１のとおりですので、後ほど御覧ください。
なお、今年度は中学生議会開催の年度で、年明けの１月９日午後１時から本会議場で行われますので、御参観方よろしくお願いいたします。また、資料として質問通告内容の一覧表をお手元にお配りしております。現在、この質問通告について答弁の調整を行っているところであります。
以上で、私からの報告を終わります。
それでは、次に各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長
それでは、会議資料２ページを御覧ください。
教育総務課は、２項目記載しております。１番、「大仙市議会定例会」が１２月１６日に終了しましたが、教育委員会関係の議案は指定管理者の指定案、補正予算案、全て原案どおり可決していただきました。教育総務課は、以上です。

吉川教育長
次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長
教育指導課は、８項目記載しております。
はじめに３番、１２月９日に、大川西根小学校を会場として、ダイバースアート実演授業を行っております。小学５年生を対象に、人権ユニバーサル事業の一環として開催しております。
次に６番と７番の海外派遣事業についてですが、１２月１６日に２回目の説明会を開催しており、１２月２７日には結団式を行う予定となっております。この事業で、派遣生が来月４日から１２日までの九日間、オーストラリアに行くことになっております。
最後に８番について、明日から小・中学校は、冬季休業に入ります。
教育指導課は、以上です。

吉川教育長
ダイバースアート実演授業の内容について、少し説明していただけませんでしょうか。

教育研究所長
この授業は、視覚障がいを持つアーティストの三上健太郎さんにお越しいただいて、実際に一緒に作品を制作することにより、障がいへの理解を深めてもらうために行っているものであります。以前にも中学校にお越しいただいたことがありますが、その時は、生徒たちが目隠しをした状態で、三上さんと同じテーマで作品を制作してもらい、出来上がった作品を比べてみるという授業を行っております。

今回は、大川西根小学校で授業を行っていただき、皆がイメージした冬をテーマにして、それを実際に形にして表現するという課題で児童たちから作品を制作してもらいました。作品完成後には、三上さんが制作したつららをモチーフとした龍をイメージさせる作品と比較しながら意見交換などを行っております。

吉川教育長
障がいを持たれている方と作品制作を通して、様々な体験をしていただくとともに互いに交流することで、障がいに対しての理解を深めることを目的とした授業ということであります。
次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
学校給食総合センターは、２項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
生涯学習課は、５項目記載しております。その中の２番について、１２月５日に、生涯学習情報誌「こすもす」１４号を発行しております。委員の皆様のお手元にお配りしておりますので、後ほど御覧いただければと思います。生涯学習課は、以上です。

吉川教育長
次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
文化財保護課は、６項目記載しております。その中の３番について、前回の教育委員会定例会で、大川寺の御本尊である仏像を、新たに市の指定文化財とすることで御承認いただきました。その後は所定の事務手続を経て、１２月１２日に、市文化財指定書の伝達を行っており、広報だいせん「だいせん日和」令和２年２月号で市民の皆様にお知らせする予定となっております。以上です。

吉川教育長
次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
スポーツ振興課は、スキー場開き１項目記載のとおりで、スキー場に雪が降ることを願っているところであります。以上です。

吉川教育長
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館は、７項目記載しております。ここには記載しておりませんが、先ほど教育長からお話がありましたように、１２月１８日の大曲小学校訪問の際に「まるびちゃん読書通帳」の５００冊超え表彰を行い、１年生１名と３年生２名に教育長賞を贈っております。以上です。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長
　総合市民会館は、２項目記載しております。
　１番につきましては、先ほど教育長からお話がありましたように「大いなる秋田」大演奏会に、４６８名の方々から御来場いただいております。
　次の２番につきましては､大ホールの冷温水発生器の工事がメインで行われております。この工事の工期は翌年１月３１日までとなっており、この期間は大ホールが使用できなくなりますので、お知らせいたします。
　そのほか、大仙市誕生１５周年記念映画鑑賞会ということで、皆様のお手元にチラシを配付させていただいております。市内４か所で、それぞれ１月１８日、１９日、２５日、２６日に上映する予定となっており、市内の小学５・６年生と中学１・２年生には無料上映会の整理券をあらかじめ配布しております。以上でございます。

吉川教育長
　次に、花火伝統文化継承資料館長、お願いします。

花火伝統文化継承資料館長
　はなび・アムは、３項目記載しております。その中の３番について、１２月２８日までは通常どおり営業しておりますが、１２月２９日と３０日は年末の特別会館日で、３階の資料室と４階の展示ホールのみ一般開放する予定であります。なお、ここには記載しておりませんが、１２月３１日と翌年１月１日は休館しまして、１月２日と３日は、年始の特別会館日として年末と同様に３階と４階のみ一般開放し、１月４日からは通常営業に戻る予定となっております。以上です。

吉川教育長
　次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長
　花館公民館は、５項目記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館は、６項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長
　西仙北中央公民館は、６項目記載しております。その中の２番、２７回目を迎えました西仙北バスケットボール交歓大会について、例年は西仙北スポーツセンターを会場として行っておりましたが、参加人数が多かったため、今年は、西仙北中学校の体育館をお借りして開催しております。以上です。

吉川教育長
　次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館は、３項目記載しております。この中で３番の自主事業「宇崎竜童弾き語りライブ２０１９」について、１２月１８日に、ドンパルにおいて開催しております。宇崎竜童さんということで、事前の問い合わせなども多く、チケットも完売となりました。宇崎さんは、来年２月に７４歳になるとのことでしたが、２時間半におよぶライブを、休憩も入れずに歌い続け、年齢を感じさせないパワフルな歌声に、お客様も終始圧倒されているようでした。ライブ終了後、御来場いただいたお客様から「素晴らしいライブでした」「また宇崎さんを呼んでください」といった声が多数聞かれ、皆様から大変御満足いただけた事業であったと感じております。以上です。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館副主幹
　協和公民館は、７項目記載しております。
　１番のクリスマススペシャルおはなし会は、協和まほろばこども園の年長児を御招待いたしまして、図書館ボランティアによる読み聞かせや絵本の貸出しを行っております。
　次に、７番のスキー場開きについてですが、協和スキー場のスキー場開きが１２月２２日に行われました。そして本日、スキー場オープンの予定でしたが、まったく雪が積もっていないため、まだオープンには至っておりません。以上です。

吉川教育長
　次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
　南外公民館は、７項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
　仙北公民館は、５項目記載しております。記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
　太田公民館は、８項目記載しております。その中で８番、太田キッズ学びぃ教室について、明日・明後日の二日間開催することになっておりますが、現在のところ７９名の小学生が参加する予定となっております。以上です。

吉川教育長
　以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

鈴木委員
　南外公民館の行事の中で、台湾料理の料理教室について記載がありましたが、講師はどなたが務められたのかということと、台湾料理を選択した理由をお聞かせいただければと思います。

南外公民館長
　はじめに講師についてですが、台湾出身の国際交流員コウ・ヒコジョウさんに務めていただきました。コウさん自身はあまり料理は得意ではないとおっしゃっておりましたが、料理教室に参加される方々に、台湾の文化や歴史などについてもお聞かせいただければとお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。当日は、コウさんから台湾料理を教わったほか、国際交流担当の職員の方にも参加してもらい、台湾の様々なことを聞かせていただきました。参加された方々からは「大変有意義でした」との声が聞かれました。
　また、台湾料理を選択した理由としては、台湾文化への理解を深めたいと感じたことと、コウさんが国際交流員で市の職員となっているため、無料で講師を引き受けていただけることなどから台湾料理を選択したものであります。

鈴木委員
　大仙市では、台湾との交流を深めているところなので、先進的でよい取組であると感じました。

吉川教育長
　台湾とは、観光分野や経済・産業面においても交流を深めてきておりますが、今後は、教育分野でも積極的にやっていきましょうという話になっていて、台湾の中心都市である台北市に隣接している新北市とは、大曲中学校規模の学校同士で交流していきたいという話が進んでおります。そこで２月に、私と大曲中学校から関係者１名が新北市に赴いて、今後どういった交流をしていくか具体的な協議をする予定となっており、来年度からは、子供たちや同行する先生方の交流も始まってくるのではないかと思っております。
　ほかにございませんか。

中島委員
　会議資料１ページに「ビブリオバトル」とありましたが、この「ビブリオバトル」の内容について教えていただけませんでしょうか。

教育研究所長
　ビブリオバトルというのは、子供が自分で推薦したい本を選んで、５分程度でその内容をプレゼンテーションするというもので、１回当たり３人から４人くらいの子供たちが自分が推薦したい本を紹介し、それを聞いていた子供たちから、発表者のなかで誰のプレゼンテーションが一番よかったのか投票してもらい、その得票数を競っていくバトルです。

吉川教育長
　自分が推薦する本を紹介して、聞いている人たちにいかに読みたくさせるか、宣伝力を競うもので、その秋田県大会において、２年連続で大曲中学校の生徒がチャンピオンになっております。そして、来年３月には、このビブリオバトルの全国大会が開催されることになっており、大曲中学校の生徒が出場することが決まっております。先日、秋田県大会の成績報告に来てくれた際に、本の紹介をしていただきましたが、非常に話の進め方が上手で、私もその本を読んでみたくなりました。全国大会でもその実力を存分に発揮していただきたいと思います。

中島委員
　分かりました。ありがとうございます。

吉川教育長
　ほかにございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。
　今回は、付議案件はございませんので、次第の４番その他に入らせていただきます。
　皆様から何かございませんか。

工藤委員
　今年度は「若者が集い活用する公民館」を目指しているとお聞きしておりますが、以前の定例会において、会議でアイディアを発表してもらった上で、企画から実施に結び付けていくとの話がありましたが、その後の動向等について教えていただければと思います。

吉川教育長
　本定例会には、各地域の公民館長が集まっておりますので、今後取り組んでいきたいことや既に実施していることがありましたらお話していただきたいと思います。
　はじめに、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長
　以前から取り組んでいることではありますが、花館公民館では、カブトムシを育てており、公民館まつりの際にその幼虫をプレゼントして、地域の住民の方々からも育ててもらおうという企画を行っております。ただ、今年については、猛暑の影響があったと思われますが、卵から孵化しなかったため、幼虫をプレゼントすることができませんでした。このような失敗を繰り返すことのないよう反省し、保管場所や管理体制について検討していきたいと思います。

吉川教育長
　続いて、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　直接若者が集まる取組になるのかは分かりませんが、今年の夏に、児童から神岡地域のＢ＆Ｇプールでカヌー体験をしたいとの要望がありました。しかし、一般の遊泳客がいる時間帯にカヌー体験は難しいと考え、日中と夜の営業の休憩時間を活用し、要望に応じて実施したことがありました。希望があればそうした対応もできることを、もっと他地域の学校へＰＲしていくことで、若者が集うきっかけになればと考えております。

吉川教育長
　次に、西仙北中央公民館についてですが、西仙北中央公民館は、現在建築中で建物はありませんが、何か取り組んでいることなどあるものでしょうか。

西仙北中央公民館長
　教育長がおっしゃられたとおり、現在西仙北中央公民館は建築中でありますが、事業については、各地区館の方へ分散して実施しております。具体的に若者が集う取組につきま

しては建物が完成してからの企画・実施になるものと思われます。今年の行事について振り返りますと、昨年度まで「寿楽大学」という高齢者教室を開催しておりましたが、様々な分野に挑戦してもらいたいとのことで、今年度から名称を「活き活きカレッジ」に変更して実施したところであります。しかし、例年と違い、場所の狭い地区館での開催であったため、昨年より参加者がだいぶ少なくなってしまいました。西仙北中央公民館の新たな建物が、来年の１０月には完成する予定ですので、今年の反省を生かして、大勢のお客様からお越しいただけるように努めていきたいと考えております。

吉川教育長
　続いて、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館では小・中学校との連携事業として、各分館において３世代交流事業を実施しており、各年代の方々が一緒に、ものづくりやグラウンドゴルフなどをして交流を深めております。また、ドンパル講座として、毎年夏休み期間中に「ディンプルアート」というアート作品の教室を開催しております。今後は、これらの継続事業に加え、より一層若者が参加できる新しい行事の開催について検討していきたいと思っております。

吉川教育長
　次に、協和公民館からお願いします。

協和公民館副主幹
　先ほど神岡中央公民館長がお話したことと同じようなことになりますが、以前、和ピアを利用しているカヌー協会の方から、カヌーの体験教室を実施したいとの要望がありました。この時は、長期間にわたって実施することは難しいと思い、協和祭を利用した一日カヌー体験教室を実施したところでした。一日だけの体験教室ではありましたが、小さいお子さんから若者のほか、年配の方も一緒になって楽しんでいただけたと感じました。協和公民館では、これまで若者を呼び込むような講座などはありませんでしたので、今後、この機会を生かしてカヌー協会とつながりを持つことができれば、定期的にカヌー体験教室を開催できるのではないかと考えているところです。

吉川教育長
　続いて、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
　南外公民館単独の事業ではないのですが、南外支所地域活性化推進室が中心となって、若者から集まってもらい、定期的に会議を開催しております。その会議の中である若者から「南外地域の若者は元気がないと感じる。このままではいけない。」といった発言があり、その発言がきっかけとなって、平成２８年から毎年クリスマスパーティーを企画しております。今年のクリスマスパーティーは、先日の新聞にも掲載されていましたし、ＦＭ

はなびでも大々的に宣伝していただきました。今回が４回目の開催となったわけですが、実行委員のうちの４名の若者が中心となって、企画から準備までを自分たちで行い、１２月２２日に、南外コミュニティセンターを会場として盛大に開催されました。私は参加できませんでしたので、参加された方からあとで聞いたことですが、南外地域だけでなく他からも若者が集まったようで、人の出入りがあったため詳しい人数は分からなかったようですが、延べ人数で４００人から５００人程集まったのではないかと話しておりました。公民館でもこういった行動力のある若者を大切にし、協力し合いながら事業を展開していければと思っております。

吉川教育長
　続いて、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
　仙北公民館では継続事業として「サタデーキッズパーク」を実施しておりますが、子供たちだけでなく、親御さんたちも来てくれますので、その中で親御さん同士がコミュニケーションを取り合いながら、子供たちの成長を一緒に見守っていく動きがあるので、大変ありがたいと思っており、今後も続けていく必要のある事業だと思っております。また、来年度の計画になりますが、仙北地域にゆかりのある指笛の伝承を図るため、指笛音楽家である田村大三先生の弟子の方々からお越しいただいて、小・中学生を対象とした演奏会を実施することを考えております。小・中学校及び仙北支所地域活性化推進室と協力してこの取組を盛り上げていきたいと思っております。

吉川教育長
　次に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
　太田公民館は、公民館の施設がありませんが、太田支所公民館事務室の周辺の壁には、１年間の活動を記録した写真を貼って、公民館活動をＰＲしております。１０月下旬の太田地域芸術発表会では、太田わんぱくランドの先生が蔦バレエ研究所に通っていたこともあり、友人と二人で歌と踊りを披露してくださるとのことで、子供たちとその親御さんが大勢集まってくれ、盛大に開催することができたと思っております。また、太田わんぱくランドの３歳以上の児童たちと、その親御さんを対象とした家庭教育学級を、今年は４月と１１月の年２回、参観日に合わせて開催しております。４月は岩手県盛岡市の方から絵本のお話をしていただき、１１月は羽後町の方から昔語りという演目でお話をしていただきました。お二人とも大変楽しくお話される方で、子供たちも関心を示してくれ、児童の親御さんたちも懐かしさを感じているように見受けられました。太田図書館には、こういった絵本や昔語りの本がありますので親子揃って御来館くださいとＰＲしております。

吉川教育長
　最後に、生涯学習部長から総括をお願いします。

生涯学習部長
　どの地域についてもよい素材を持っていると思っておりますが、この厳しい財政状況下において、予算措置を伴う新たな事業を企画するのはなかなか難しいと思っております。ただし、予算がなくてもできることはあると思っております。既に各地域で行われている様々なお祭りやイベントを生かしながら、より一層集客を図っていくよう努めていくことも重要であるものと考えておりますので、我々職員が、もっと市民の方々と連携を深めていくことを心掛けていかなければならないのではないかと感じているところです。大仙市内で市民が一番使用している施設は公民館であり、住民の方々や若者と触れ合う機会の多いのも公民館の職員であると思います。このことからも町づくりや地域づくりの最前線は公民館であると考えておりますので、我々や公民館職員の意識改革を進めて、イベントなどで集まってくれた若者と積極的に交流していくようにしていきたいと思います。また、これからは自助・共助・公助が大切になってくると考えておりますので、令和２年度は、この意識改革と交流を少しでも前に進めたいと思っております。

吉川教育長
　こういった取組については、飛躍的に成果を上げるのは難しいものと思いますので、地道な努力を続けていくことが重要であると考えております。
　以前にも少しお話しましたが、例えば使わなくなったおもちゃを集めたりして、子育てをされている方が、いつでも子供たちと自由に遊べるスペースを作るということを実施してほしいと思います。子育てをされている方が気軽に入れる、立ち寄れる場所を、普段から設けているということが大切だと考えております。教育委員会だけでなく大仙市全体で「子育て支援」を重点的に取り組んでいるところですので、公民館や図書館だけでなく市役所の他課や各支所とも連携して、散歩や送迎の途中で、子供とおもちゃで遊んだり、一緒に本を読んだり、親御さん同士でお話したりなど、子育てされている方が気軽に訪れることができる場所を設けられるような取組を進めていきたいと思っております。
　委員の皆様、ほかにございませんでしょうか。

髙見委員
　今の公民館のお話の中でも感じたことですが、この定例会資料には名前が挙がってこない内小友公民館や四ツ屋公民館などでも様々な活動をされていると思います。自身が内小友公民館を活用しているということもあるのですが、そういった公民館や地区館の活動もどこかで把握しているのかお聞かせいただければと思います。
　もし、その活動を把握しているのであれば、それを紹介したり話し合ったりすることで、お互い刺激を受けてもっと盛り上がっていくのではないかと感じました。

生涯学習部長
　大曲地域については、基幹公民館が花館公民館となっており、そのほかの地域で地区館や分館などがあるところは、その地域の公民館長が管轄しておりますので、本定例会に出席いただいているところであります。そういった公民館や地区館及び分館などの活動の中

でも公民館祭りなど大きな行事については、定例会の資料に掲載しておりましたが、今後は、もっと詳細な部分につきましても資料に掲載して紹介していくようにしていきたいと思います。

髙見委員
　分かりました。よろしくお願いします。

吉川教育長
　ほかにございませんでしょうか。

風登委員
　旧池田氏庭園について、一般公開は１１月１７日まででしたでしょうか。

文化財保護課長
　はい、そのとおりです。

風登委員
　今年は１２月の初めに大雪となりましたが、まだ冬囲いが十分できていない状態だと感じました。一般公開期間中は樹木などの冬囲いはできないとお聞きしましたが、作業される方も大変だと思いますので、もっと前もって作業に取り掛かれないものでしょうか。

文化財保護課
　一般公開期間中に洋館にコンパネをつけたり、紅葉がきれいな時期に樹木に冬囲いの板をつけるわけにもいきませんので、一般公開が終わった翌日から作業を開始することにしております。雪が降ったら困るものから優先的に作業を行っていて、１２月中旬には大部分の作業が終わっておりますので、ほぼ例年どおりの日程となっております。

風登委員
　今年は例年になく、１２月の初めの三日間くらいで雪が非常に多く降り積もり、なかなか消えなかったと思います。冬囲いをされているのが年配の方だったので、この雪の中で作業するのは少し気の毒なのかなと感じました。例えば、兼六園などでも見られる風景ですが、冬囲いの作業をしている様子を、一般のお客様からも見ていただくといった取組などはできないものでしょうか。そういった発想もあってはいいのではないかと思います。

文化財保護課
　東京都内の庭園や兼六園については、比較的積雪の少ない沿岸部に位置しており、冬期間も閉鎖することがないため、お客様が入っているなかで、冬囲いの作業を進めていく必要があるものと思われます。しかし、旧池田氏庭園は雪が多く積もるため、除排雪などの対応が必要となることから、冬期間に開放するのは難しい状況であり、また雪対策として兼六園などでは行わないような厳重な囲いを施すものもあるため、この期間は一般公開に

は向かないものと考えます。一般公開期間終了後は、背丈の低いものから順に冬囲いを行っておりますので、１２月の初めに３０センチから４０センチくらいの積雪があっても作業には支障がないものと思っております。

吉川教育長
　先ほど風登委員がおっしゃられたとおり、今年は１２月の初めに多くの降雪があり雪が積もっていましたが、現在はほとんど積雪がない状況になっています。このような状況が毎年続くのであれば、冬期間の一般公開を検討していく必要があると思っておりますが、現段階においては、大仙市は、雪が積もる地域との認識でありますので、このようにさせていただきたいと思います。

風登委員
　はい、分かりました。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

鈴木委員
　先日、テレビで角間川の御三家が取り上げられている番組を見たのですが、そういった市で関わっている文化財や施設等を紹介している番組の広報活動などはしているものでしょうか。

文化財保護課長
　市のホームページに掲載したりして広報活動に努めております。番組編成の都合上だと思われますが、テレビ局の方から情報が入ってくるのが、放送週になることが多いので、市広報には間に合わない状況です。２週間くらい前からオンエアされると分かっている場合は、そのほかの媒体でも宣伝しておりますが、今回は期間が短かったため、ホームページへの掲載のみとなっております。

吉川教育長
　やはり時代の流れといいますか、紙に印刷したものを配布するよりも、ＳＮＳを活用した宣伝や広報活動が一層重要になってくるものと感じているところであります。

鈴木委員
　分かりました。ありがとうございます。

吉川教育長
　ほかにございませんでしょうか。
　なければ、教育総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長
　来年１月の定例会ですが、１月２４日金曜日の午後４時から、ここで開催したいと考えております。御検討をよろしくお願いいたします。

吉川教育長
　次回の定例会は、令和２年１月２４日金曜日の午後４時から、ここで開催ということで、皆様いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　では、次回の定例会は、そのようにさせていただきます。
　本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。
　ありがとうございました。